

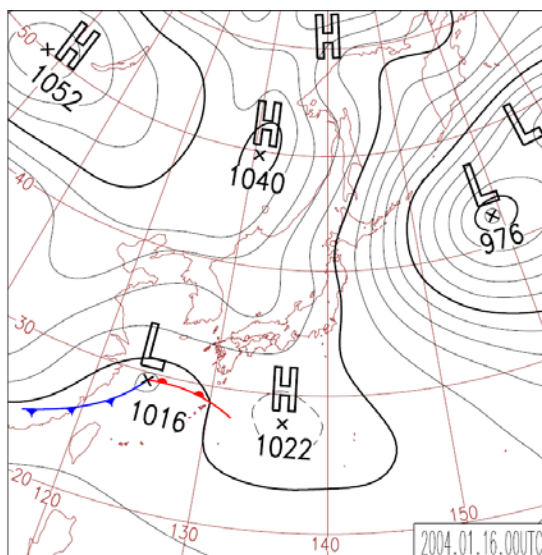
平成16年（2004年）の災害記録

- ・ [1月16日～17日の大雪による積雪害・雪圧害（南岸低気圧）](#)
- ・ [1月21日～23日の大雪・低音・強風による積雪害・雪圧害・凍結害・強風害（冬型）](#)
- ・ [5月15日～16日の大雨・強雨による山がけ崩れ害・強雨害（停滞前線）](#)
- ・ [6月19日～21日の大雨・強風・波浪による](#)
[山がけ崩れ害・浸水害・海上波浪害（台風第6号）](#)
- ・ [6月24日～27日の大雨・強風による山がけ崩れ害・強雨害（梅雨前線、暖気移流）](#)
- ・ [7月8日の雷・強風による落雷害・強風害（梅雨前線、雷雨）](#)
- ・ [7月9日の雷による落雷害（梅雨前線、雷雨）](#)
- ・ [7月24日の雷による落雷害（熱雷）](#)
- ・ [7月27日の雷による落雷害（熱雷）](#)
- ・ [7月31日～8月1日の強風・波浪による強風害海上波浪害（台風第10号）](#)
- ・ [8月17日～19日の大雨・強雨・強風・による](#)
[強雨害・強風害・海上波浪害（台風第15号）](#)
- ・ [8月23日の雷・強雨による落雷害・強雨害（停滞前線、台風第17号）](#)
- ・ [8月28日～30日の大雨・強雨・強風・波浪による](#)
[山がけ崩れ害・浸水害・強風害・海上波浪害・沿岸波浪害（台風第16号、暖気移流）](#)
- ・ [9月5日～7日の強風・大雨・強雨・波浪による](#)
[強風害・山がけ崩れ害・浸水害・海上波浪害（台風第18号）](#)
- ・ [9月28日～29日の大雨・強雨・強風・波浪による](#)
[強風害・浸水害・山がけ崩れ害・海上波浪害（台風第21号）](#)
- ・ [10月18日～20日の大雨・強雨・強風・波浪による](#)
[山がけ崩れ害・浸水害・強風害・沿岸波浪害（台風第23号・秋雨前線）](#)

※目次に戻る場合は標題をクリックしてください。

1108 平成 16 年(2004 年)1 月 16 日～17 日の大雪による積雪害・雪圧害(南岸低気圧)

[気象概況]1 月 16 日から 17 日にかけて、九州南岸を東進する低気圧の影響で大分県では、北部、西部を中心に積雪があった。中津で 17 日 09 時に積雪 1cm を観測した。



地上天気図 1 月 16 日 09 時

極値表			
観測項目	観測値	起時	観測地点
降雪の深さ日合計最大	0cm	17日	大分
日最低気温	-2.6℃	17日 24h00m	湯布院(a)
	-2.1℃	17日 23h40m	宇目(a)
	-1.8℃	17日 24h00m	玖珠(a)
	-1.8℃	17日 21h40m	院内(a)

[被害概況]積雪により、竹田直入を中心に園芸用ハウス等の損壊など 489 棟の被害が発生した。また、園芸用ハウスの損壊に伴い、ほうれん草、トマト、花卉等の農作物被害が発生した。農業施設、農作物被害併せて、23,910 万円の被害が出た。

JR では 17 日積雪により、久大本線で安全確認のため、由布院発大分行きが始発普通列車が運休。由布院駅－野矢駅間で倒木があり除去のため、午前中、大分駅－由布院駅間などで折り返し運転をした。豊肥本線では安全点検のため、豊後竹田発大分行きが始発普通列車が運休。午前中、大分駅－中判田駅間などで折り返し運転をした。日豊本線では立木が架線に接触し、04 時 20 分から約 1 時間、直見駅－北川駅(宮崎県)間で電気供給ができなくなり、博多発宮崎行きの特急ドリームにちりんが佐伯駅に約 1 時間停車した。

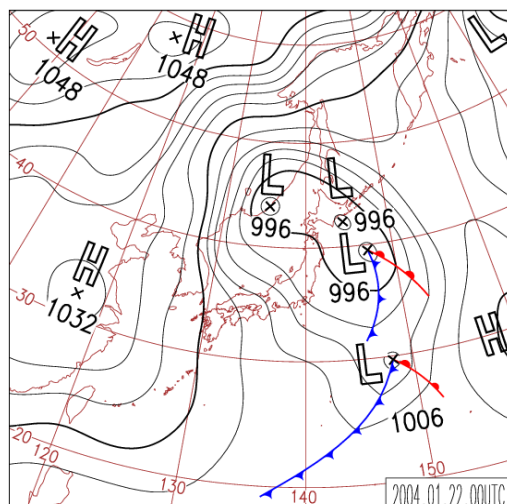
高速道路では 16 日夜から 17 日朝にかけて、積雪のため大分自動車道と宇佐別府道路で一部通行止め。一般道路では、16 日夜、国道 210 号線、国道 442 号線、県道別府一の宮線の一部区間でチェーン規制があった。

(その他)16 日、別府市の小・中学校各 1 校が積雪のため下校時間を早めた。

[参考] 積雪状況 17 日 10 時 竹田(竹田広域消防署)10cm 玖珠(玖珠消防署)9cm 湯布院(大分地域消防組合 湯布院出張所)8cm 宇目(佐伯広域消防署 宇目分署)5cm

1109 平成 16 年(2004 年)1 月 21 日～23 日の大雪・低温・強風による積雪害・雪圧害・凍結害・強風害(冬型)

[気象概況]1 月 21 日から 23 日にかけて、西高東低の冬型の気圧配置となり、上空 5,500m で氷点下 24℃以下の強い寒気が流れ込んだため大分県では、北部、西部の山沿いを中心に積雪となった。22 日 09 時に中津で積雪 10cm、日田で 5cm を観測した。23 日 07 時に中津で積雪 3cm を観測した。また、22 日から 23 日かけて非常に冷え込み、両日とも県下全地域気象観測所で最低気温は氷点下だった。



地上天気図 1 月 22 日 09 時

極値表			
観測項目	観測値	起時・期間	観測地点
日最大風速・風向	9.0m/s 西	22日 02h00m	大分
	17m/s 西北西	22日 01h10m	豊後高田(a)
日最大瞬間風速・風向	19.2m/s 北西	22日 13h28m	大分
降雪の深さ日合計最大	0cm	22日	大分
日最低気温(平年差)	-7.3℃ (-6.2℃)	23日 00h39m	日田
	-8.6℃ (-6.2℃)	22日 22h10m	玖珠(a)
期間平均気温(平年差)	-1.4℃ (-4.9℃)	21日～23日	日田
	-3.1℃ (-4.7℃)	21日～23日	湯布院(a)
日最低気温	-7.5℃	22日 06h00m	湯布院(a)
	-7.1℃	22日 24h00m	日田(a)
	-8.4℃	23日 02h50m	宇目(a)
	-8.0℃	23日 00h10m	玖珠(a)
	-7.4℃	23日 03h10m	院内(a)

[被害概況]積雪により、玖珠町、九重町を中心に園芸用ハウス等の損壊など 40 棟の被害が発生した。また、園芸用ハウスの損壊に伴い、かすみ草、ゆりなどの花卉、ニラ、ピーマン、ほうれん草等の農作物被害が発生した。農業施設、農作物被害併せて 2,115 万円の被害が出た。

林業関係では、1 月 16 日から 22 日の大雪により、別杵速見、大分、大野、竹田直入、玖珠九重、日田、中津下毛各地方振興局管内で椎茸栽培の人工ほだ場、栽培用ハウス等 73 棟に 7,610 万円の被害が出た。また、別杵速見、竹田直入、日田、中津下毛各地方振興局管内で造林木に折損、倒伏により、15.24ha、1,388 万円の被害があり、椎茸栽培関係と造林木で併せて 8,998 万円の被害が出た。

JR 各線では、22 日に日豊本線で特急「ソニック」19 本と普通列車 10 本、特急「ゆふいんの森」2 本(別府～大分間)、久大本線は普通列車 6 本がそれぞれ運休(部分運休含む)した。

高速道路では、21 日午後から 23 日朝にかけて、積雪のため、大分自動車道と宇佐別府道路で一部通行止め。21 日午後、大分空港道路(全線)が通行止め。一般道路では、21 日午後、国道 500 号線、県道別府一の宮線の一部区間でチェーン規制となった。22 日は国道 496 号線の一部区間で通行止め。国道 10 号線、国道 210 号線、県道別府一の宮線でチェーン規制となった。23 日朝は国道 496 号線の一部区間で通行止め。国道 213 号全線、県道別府一の宮線の一部区間でチェーン規制となった。また、積雪や路面凍結の影響で 21 日から 22 日正午にかけて 105 件の交通事故が発生した。

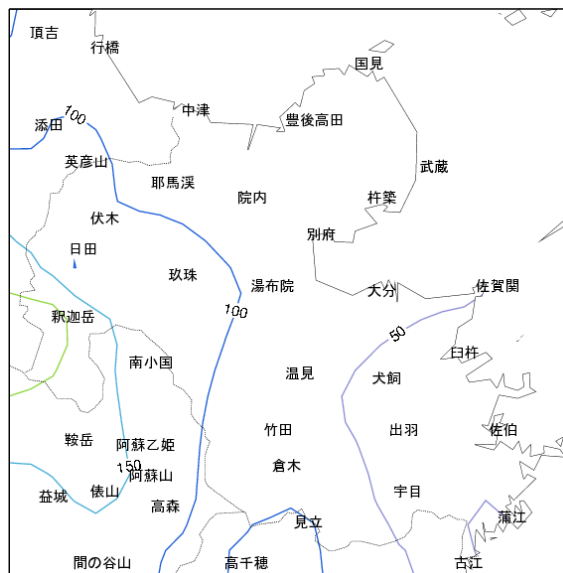
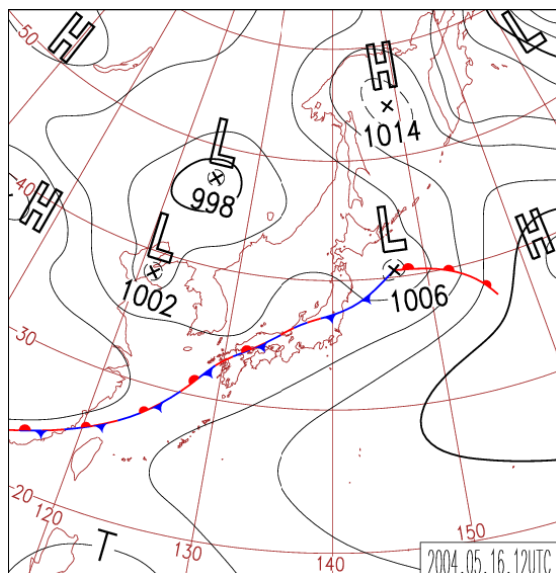
21 日、積雪の影響で大田村と別府市の小・中学校 5 校が途中下校し、別府市の 2 校は始業時間を遅らせた。22 日は県北部、西部の小・中学校、高校を中心に、臨時休校が 17 校、始業時間を繰り下げる途中登校が 90 校、途中下校が 59 校あった。23 日県北部、西部の小・中学校、高校を中心に、臨時休校が 17 校、79 校が始業時間を繰り下げ、6 校の小・中学校が途中下校した。

[参考] 積雪状況 22 日 09 時 玖珠(玖珠消防署)10cm、耶馬溪(中津下毛広域消防署 耶馬溪分署)5cm

1110 平成 16 年(2004 年)5 月 15 日～16 日の大雨・強雨による山がけ崩れ害・強雨害

(停滞前線)

[気象概況]5 月 16 日に停滞前線が九州北部に南下し、暖かく湿った空気が流れ込み、大分県では大気の状態が不安定となり、西部の日田玖珠を中心に大雨となった。釈迦岳で 16 日に 206mm の雨を観測した。



地上天気図 5 月 16 日 21 時

降水量分布図 5 月 15 日～16 日

5月15日～16日の日別降水量(単位:mm)					
観測地点	15日	16日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	
国見	21	48	69	9	15日 21h50m
中津	25	46	71	9	15日 23h00m
豊後高田	16	50	66	8	15日 21h30m
耶馬溪	32	62	94	11	15日 21h00m
院内	13	70	83	16	16日 21h40m
杵築	15	72	87	17	16日 20h50m
武蔵	21	78	99	24	16日 20h50m
伏木	27	73	100	10	16日 03h00m
日田	16	61	77	8	16日 02h50m
別府	12	74	86	16	16日 20h40m
玖珠	13	125	138	32	16日 20h10m
湯布院	14	84	98	15	16日 20h30m
大分	7	57	64	14	16日 06h00m
佐賀関	15	38	53	9	16日 23h30m
釈迦岳	37	206	243	41	16日 20h50m
臼杵	9	21	30	9	16日 06h40m
温見	14	44	58	9	16日 22h30m
犬飼	12	30	42	10	16日 06h30m
竹田	13	42	55	12	16日 06h10m
出羽	14	29	43	8	16日 06h30m
佐伯	14	30	44	7	16日 07h30m
倉木	19	40	59	9	16日 05h40m
宇目	11	26	37	6	16日 05h50m
蒲江	18	37	55	16	16日 14h00m

[被害概況] 5 月 16 日玖珠郡玖珠町大分自動車道日田インターチェンジ～玖珠インターチェンジ間の下り車線(大分方向)の法面が、20 m³崩壊する山がけ崩れがあった。

この影響で 16 日 14 時頃全面通行止めとなった。16 日 19 時 20 分には通行止めは解除された。

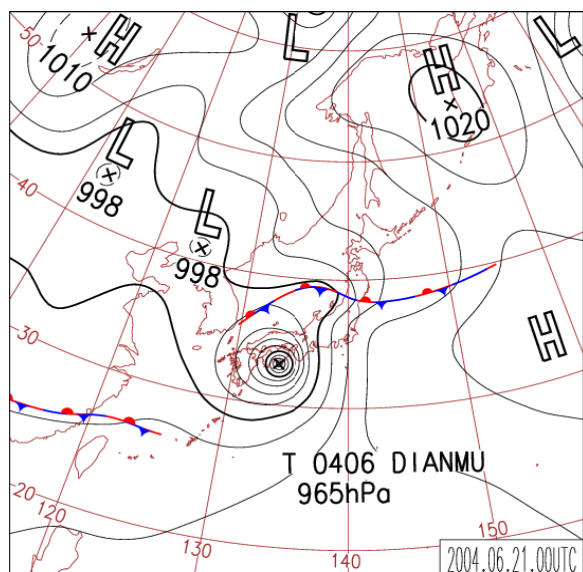
16 日日田郡大山町松原ダム付近の国道 212 号線の片側車線(日田方向)で直径 90cm の石 2 個と小石が崩落する山がけ崩れがあった。

JR では 16 日 06 時頃、湯布院町川西の JR 久大本線南由布駅～湯平駅間で、線路に樹木が倒れ、列車が通れなくなった。復旧までに 1 時間 40 分かかり、普通列車 3 本が運休(部分運休含む)、普通列車 2 本が最大 1 時間 14 分遅れて運行し、約 50 人に影響が出た。

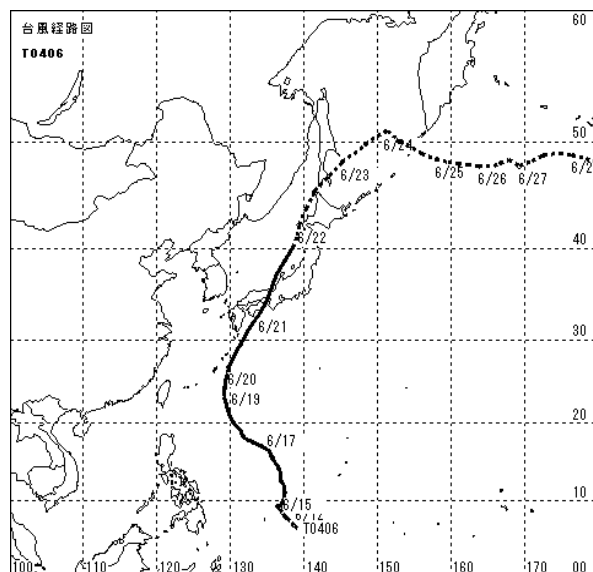
1111 平成 16 年(2004 年)6 月 19 日～21 日の大雨・強風・波浪による山がけ崩れ害・浸水害・海上波浪害 (台風第 6 号)

[気象概況]6 月 13 日 21 時、カロリン諸島近海で発生した台風第 6 号は、フィリピン東海上において大型で非常に強い台風に発達した。20 日 09 時には名瀬市の南約 180km の海上にあって、時速 20km で北北東へ進んだ。21 日 00 時には種子島の東南東約 90km まで北上してきた。その後、四国の南海上を北上し、09 時 30 分頃、高知県室戸市付近に上陸した。16 時頃には日本海に入り、22 日 03 時には日本海北部で温帯低気圧となった。

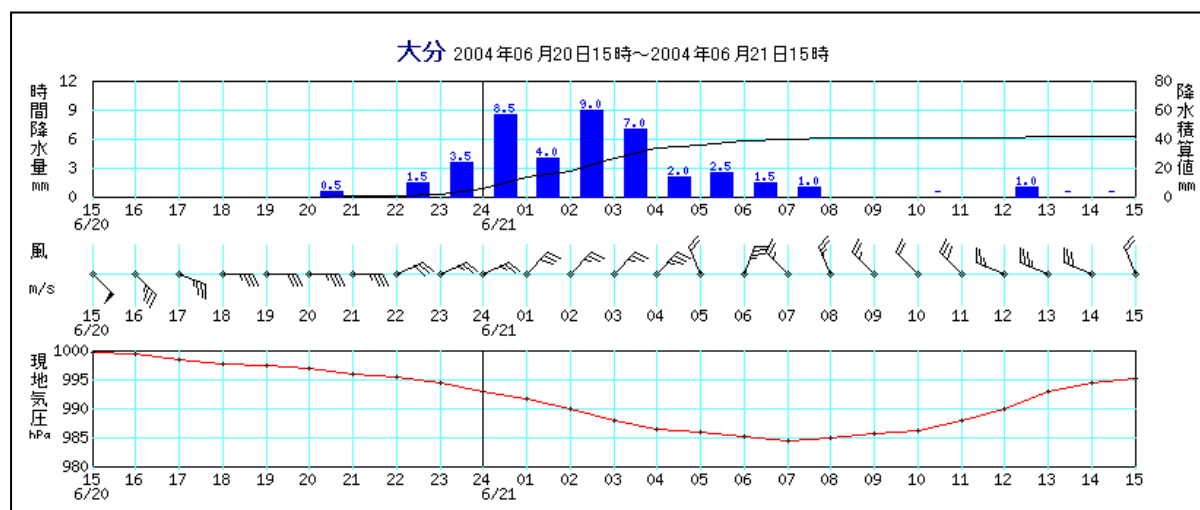
大分県では 20 日 13 時頃強風域に入り、21 日 07 時頃、台風は大分市に最も接近した。21 日 16 時頃には強風域を抜けた。台風の北上に伴い、大分県では風雨が強まり、南部、中部を中心に大雨となった。期間降水量は、宇目で 181mm、倉木で 131mm、出羽で 126mm、佐伯で 121mm に達した。



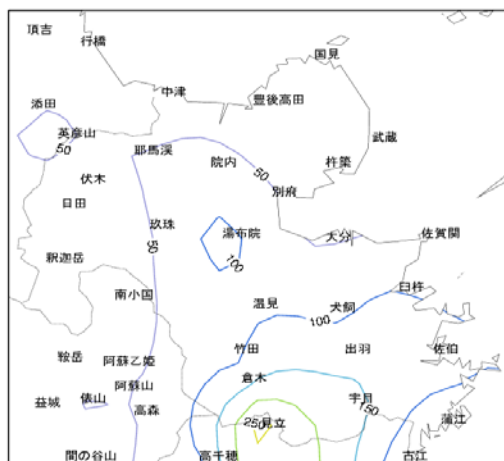
地上天気図 6月21日09時



台風第6号経路図 6月15日～22日



極値表(大分地方気象台)		
観測項目	観測値	起時
最低海面気圧	985.7hPa	21日 06h56m
日最大風速・風向	11.4m/s 南南東	20日 13h30m
日最大瞬間風速・風向	19.4m/s 北西	21日 13h11m



6月19日～21日の日別降水量(単位:mm)と日最大風速・風向(単位:m/s)										
	19日	20日	21日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時		日最大風速・風向・起時			
国見	2	2	6	10	3	21日 08h40m	7	北東	21日 02h50m	
中津	0	2	26	28	6	21日 12h30m	11	南東	20日 19h10m	
豊後高田	1	2	15	18	5	21日 04h30m	16	西	21日 12h20m	
耶馬溪	0	22	30	52	9	21日 01h30m				
院内	0	29	49	78	16	21日 04h20m	9	南	20日 11h30m	
杵築	0	1	11	12	5	21日 06h10m	8	北東	21日 04h10m	
武蔵	0	0	9	9	4	21日 03h40m	12	西北西	21日 14h30m	
伏木	0	9	12	21	5	21日 00h20m				
日田	0	3	3	6	2	21日 00h20m	7	北北東	20日 12h40m	
別府	9	7	42	58	11	21日 01h00m				
玖珠	0	22	20	42	7	21日 12h30m	12	東南東	20日 16h50m	
湯布院	1	67	49	117	20	20日 23h30m	10	北東	21日 02h10m	
大分	0	5	37	42	11	21日 03h20m	11	南東	20日 14h00m	
佐賀関	12	2	38	52	19	21日 03h10m				
釈迦岳	0	8	27	35	6	21日 02h10m				
臼杵	20	14	75	109	27	21日 03h20m				
温見	5	44	47	96	10	21日 03h20m				
犬飼	3	40	46	89	14	21日 03h40m	8	北	21日 06h30m	
竹田	1	44	36	81	12	20日 20h40m	6	東南東	20日 12h10m	
出羽	18	57	51	126	11	21日 02h40m				
佐伯	37	7	77	121	23	21日 04h20m	8	北	21日 03h00m	
倉木	3	65	63	131	19	21日 03h30m				
宇目	28	51	102	181	28	21日 02h40m	5	東南東	20日 21h40m	
蒲江	14	1	56	71	20	21日 02h20m	9	北北西	21日 06h30m	

〔被害概況〕台風の接近に伴う大雨により、21日、南部、中部を中心に、山がけ崩れ 6 箇所、道路冠水 1 箇所の被害が出た。佐伯市小福良では、民家の裏山が高さ6m、幅5mにわたって崩落、約3～5 m³が裏庭に堆積した。津久見市大字八戸の

市道八戸線では、高さ 7m、幅 5m にわたって法面が崩落し、片側通行止めとなる等の山がけ崩れが発生した。佐伯市蛇崎の市道蛇崎川原線では長さ 100m(深さ 30cm)に渡って道路が冠水し、全面通行止めとなった。

農業被害では、大雨のため、北部、西部、中部でトモロコシ、花卉、野菜、果樹等の農業被害(被害面積 5ha、被害額 839 万円)が発生した。

(交通機関)21 日、フェリーの運行に乱れが出た。大分ホーパ¹フェリー、宇和島運輸フェリー(別府-八幡浜、臼杵-八幡浜)、国道九四フェリー(佐賀関-三崎)、九四オレンジフェリー(臼杵-八幡浜)、スオナダ²フェリー(竹田津-徳山)、ダイヤモンドフェリー(大分-神戸)の午前の各便が欠航した。関西汽船フェリー(別府-大阪)は 16 時別府発の便が松山発に変更になった。

JRでは21日、目豊本線で特急列車1本が運休し、普通列車2本が部分運休した。

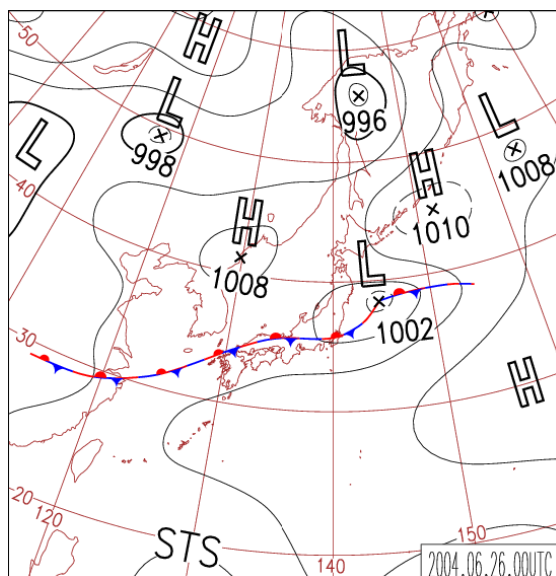
(その他)21 日、県内の小・中学校、高校、養護学校のうち 178 校が休校し、151 校が始業時間を遅らせた(途中登校)。4 校が自宅待機になった。

被害状況			
死者・行方不明者		人	道路損壊 5 か所
負傷者		人	橋の流失 か所
被災者		人	鉄軌道被害 か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り 6 か所
	半壊・半焼・一部破損	棟	堤防決壊 か所
	床上浸水	棟	通信施設被害 回線
	床下浸水	棟	木材流失 m ³
耕地	流失・埋没	10.5 ha	山林焼失 ha
	冠水	ha	船舶被害 隻
農業被害		5 ha か所	
		839 万円	
水産業被害		隻 か所	
		万円	
林業被害		m ³ ha	
		か所 万円	
交通	陸上	運休 3本	
	海上	欠航	
	航空		
電力・水道被害		停電 5戸	
被害資料の入手先		大分県警察本部、大分県、大分合同新聞	

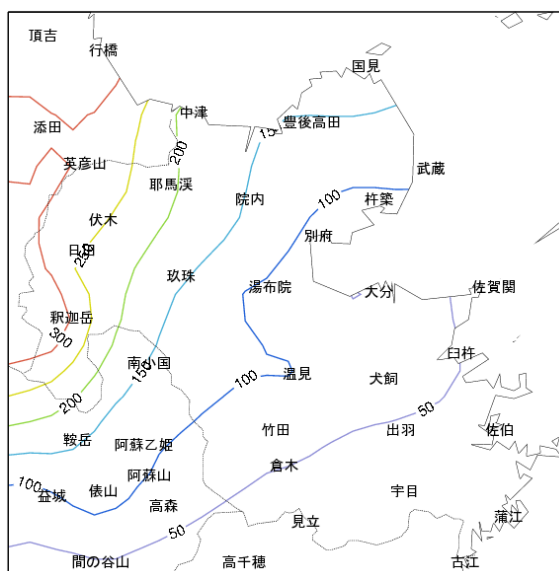
1112 平成16年(2004年)6月24日～27日の大雨・強雨による山がけ崩れ害・強雨害

(梅雨前線 暖気移流)

[気象概況]6月24日から27日にかけて、九州北岸に停滞していた梅雨前線の活動が活発となり、大分県では、北部、西部を中心に大雨となった。この期間、西部の釈迦岳で365mm、伏木で264mm、日田で246mm、北部の耶馬溪で235mmの雨を観測した。



地上天気図 6月26日09時



降水量分布図 6月24日～27日

6月24日～27日の日別降水量(単位:mm)							
	24日	25日	26日	27日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	
国見	24	76	47	42	189	30	25日 14h00m
中津	38	49	65	39	191	22	26日 06h30m
豊後高田	16	37	43	37	133	13	25日 14h20m
耶馬溪	35	56	97	47	235	23	26日 06h40m
院内	24	30	64	49	167	28	26日 13h00m
杵築	15	17	39	9	80	9	26日 07h20m
武蔵	13	20	46	32	111	24	27日 22h00m
伏木	36	61	104	63	264	27	26日 12h40m
日田	28	41	97	80	246	37	26日 12h10m
別府	19	20	36	21	96	13	26日 12h50m
玖珠	28	30	59	41	158	18	27日 20h00m
湯布院	26	28	32	12	98	14	25日 18h20m
大分	18	0	22	1	41	9	26日 15h20m
佐賀関	12	6	17	8	43	7	27日 22h30m
釈迦岳	56	96	128	85	365	25	26日 14h00m
臼杵	13	6	44	3	66	15	26日 15h30m
温見	26	4	78	1	109	47	26日 15h30m
犬飼	14	1	70	6	91	40	26日 16h30m
竹田	20	0	58	2	80	36	26日 16h10m
出羽	8	3	12	2	25	7	26日 18h50m
佐伯	10	3	2	0	15	4	24日 11h30m
倉木	24	12	13	1	50	16	24日 10h00m
宇目	10	0	1	0	11	3	24日 10h40m
蒲江	15	1	6	0	22	6	26日 16h30m

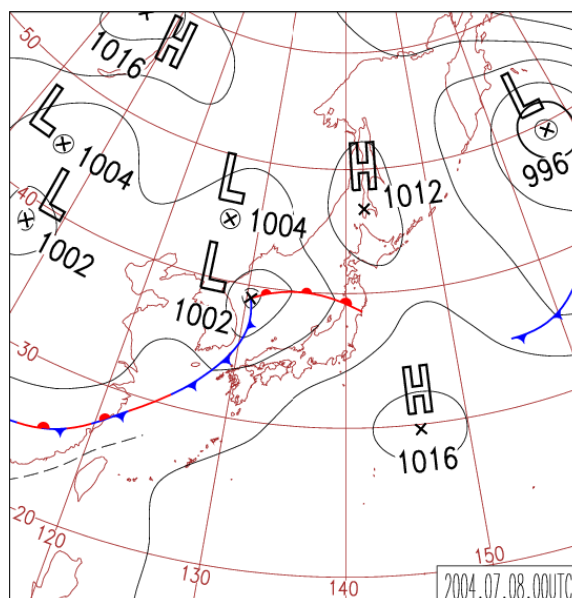
[被害概況]梅雨前線による大雨の影響で、6月26日に下毛郡三光村上深水の民家の裏山の表土が幅8m、高さ5mにわたって崩落し、1世帯4名が自主避難した。宇佐市大字上麻生では民家の裏山方面から2トントラック1台分の土砂が崩落し、1世帯2名が自主避難した。宇佐市大字山口では民家の裏山が幅3m、高さ2mにわたって崩落し、1世帯1名が自主避難した。日田市夜明では、国道386号線の道路法面が幅6m、高さ3mにわたって崩落し、土砂が国道上に流出する等の山がけ崩れが北部、西部を中心に8箇所発生した。宇佐郡安心院町大字下毛の町道では、道路のアスファルトの下の土砂が幅1m、長さ4m、高さ5mにわたって流出し、片側通行となる道路損壊が発生した。大分市下郡南では、JR豊肥本線ガード下で水位約40cmの道路冠水があり、通行止めとなった。

交通機関では、26日午後JR豊肥本線の玉来駅(竹田市)、菅尾駅(三重町)付近で激しい雨が降り、列車を運行するための雨量基準値を超えたため普通列車6本が運休し、特急列車2本が大分駅-別府駅間で部分運休するなどダイヤに乱れが出た。

被 害 状 況				
死者・行方不明者		人	道路損壊	8 か所
負傷者		人	橋の流失	か所
被災者		人	鉄軌道被害	か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	8 か所
	半壊・半焼・一部破損	棟	堤防決壊	か所
	床上浸水	棟	通信施設被害	回線
	床下浸水	棟	木材流失	m ³
耕地	流失・埋没	0.5 ha	山林焼失	ha
	冠水	ha	船舶被害	隻
農業被害		ha		か所
				10401 万円
水産業被害		隻		か所
				万円
林業被害		m ³		ha
		か所		万円
交通	陸上	運休 8本		
	海上			
	航空			
電力・水道被害		停電 225戸		
被害資料の入手先		大分県、大分県警察本部、大分合同新聞		

1113 平成 16 年(2004 年)7 月 8 日の雷・強風による落雷害・強風害(梅雨前線、雷雨)

[気象概況]7 月 8 日に梅雨前線が九州北岸に接近したため大分県では、大気の状態が不安定となり、積乱雲が発達し、中部を中心に一時的に雷を伴った激しい雨と突風が発生した。大分市では 8 日 14 時 16 分に最大 1 時間降水量 22mm を観測し、8 日 13 時 44 分に西南西の風で 23.8m/s の最大瞬間風速を観測した。



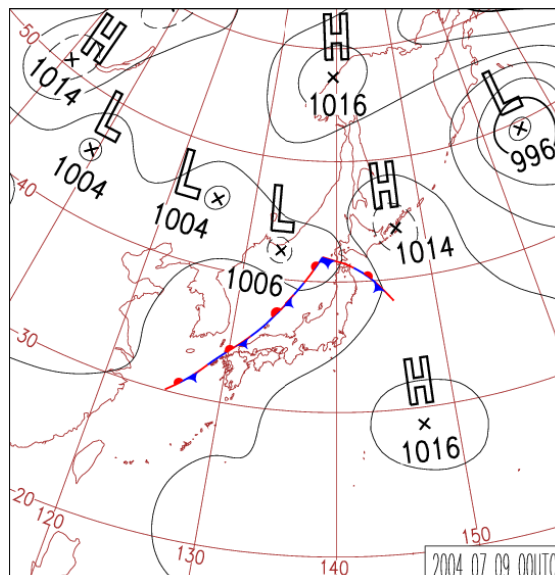
地上天気図 7 月 8 日 09 時

極値表(7月8日)			
観測項目	観測値	起時	観測地点
日最大風速・風向	10.1m/s 西	13h50m	大分
日最大瞬間風速・風向	23.8m/s 西南西	13h44m	大分
日最大1時間降水量	22.0mm	14h16m	大分
日最大10分間降水量	12.5mm	13h51m	大分
日最高気温・平年差	34.9°C (+5.3°C)	12h30m	大分
日最大風向・風速	13m/s 西	13h10m	豊後高田(a)
日最大1時間降水量	25mm	14h20m	国見(a)
日最高気温(平年差)	35.4°C (+6.7°C)	12h20m	院内(a)

[被害概況] 8 日 13 時 30 分頃、落雷により大分市西部地区の約 28,000 戸が数分間停電し、信号機が消えるなどの影響が出た。また、別府市や日出町の金融機関の一部で ATM が一時的に使えなくなったが、間もなく復旧した。交通機関では JR が 13 時 40 分頃強風のため大分市の大分川鉄橋の風速計が列車の運行のための基準値を超えたため、豊肥本線の大分一下郡信号所間、日豊本線の大分駅ー別府駅間で部分運休するなど日豊本線、豊肥本線、久大本線の各線で計 6 本が運休。特急列車など 6 本が最大 17 分遅れた。また、大分空港上空の大気が不安定で、雷が発生しやすい気象状態になったため、大分発羽田行きの 1 便が 12 分出発を遅らせた。

1114 平成 16 年(2004 年)7 月 9 日の雷による落雷害(梅雨前線、雷雨)

[気象概況]7 月 9 日に梅雨前線が九州北岸に接近したため、大分県では大気の状態が不安定となり、積乱雲が発達し、中部、北部、南部を中心に一時的に雷を伴った激しい雨となった。



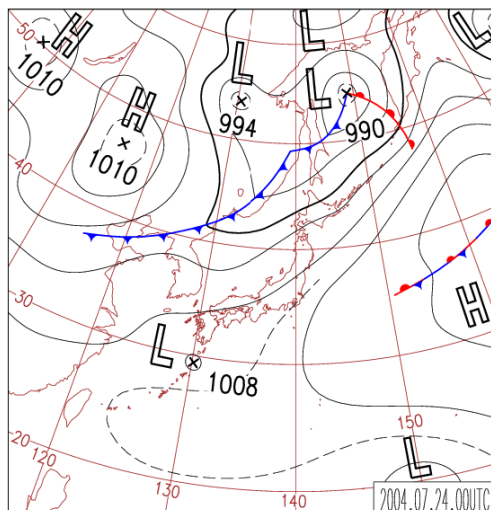
地上天気図 7 月 9 日 09 時

各地の日降水量・日最大1時間降水量(単位:mm)・ 日最大風速・風向(単位:m/s)及び起時						
観測所	日合計	日最大1時間降水量		日最大風速・風向		
		降水量	起時	風速	風向	起時
国見	3	3	13h10m	2	南西	22h50m
中津	0	1	12h40m	5	北西	11h10m
豊後高田	2	2	12h40m	7	北西	12h00m
耶馬溪	0	1	12h10m			
院内	2	3	12h20m	4	北北東	17h10m
杵築	×	×	障害による休止	4	南東	16h00m
武蔵	0	1	13h20m	4	南南東	14h30m
伏木	3	3	11h40m			
日田	5	5	11h40m	5	西南西	13h20m
別府	1	1	13h20m			
玖珠	3	3	11h50m	5	南南東	09h10m
湯布院	0	1	12h20m	6	西南西	11h20m
大分	9	9	12h50m	4	北北西	11h20m
佐賀関	8	9	13h20m			
釈迦岳	6	6	11h20m			
臼杵	7	8	13h00m			
温見	1	2	12h20m			
犬飼	3	2	12h40m	5	南西	11h50m
竹田	2	2	12h10m	4	南南西	11h20m
出羽	12	11	13h10m			
佐伯	6	6	14h00m	4	北北東	12h20m
倉木	3	3	12h10m			
宇目	22	22	13h30m	2	北	13h50m
蒲江	0	0	—	4	南南東	12h20m

[被害概況]落雷により、9 日に三重地区で約 7, 600 戸、大分地区 23, 800 戸、臼杵地区 2, 300 戸、国東地区 760 戸が停電した。

1115 平成 16 年(2004 年)7 月 24 日の雷による落雷害 (熱雷)

[気象概況]7 月 24 日、大分県は太平洋高気圧周辺部にあたり、午後には強い日射の影響もあって、大気が非常に不安定な状態となり、北部、西部を中心に一時的に雷を伴った激しい雨となった。



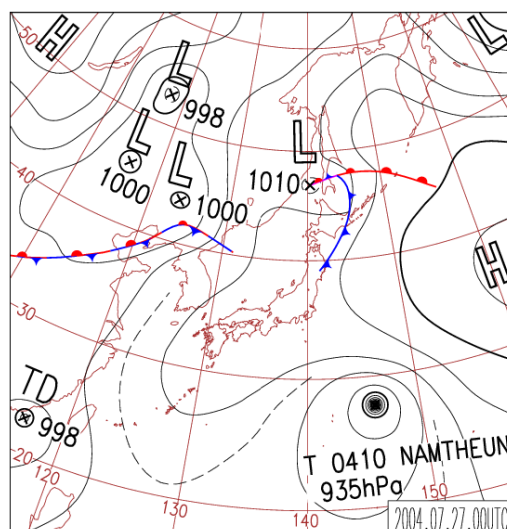
地上天気図 7 月 24 日 09 時

各地の日降水量・日最大1時間降水量(単位:mm)と日最大風速・風向(単位:m/s)・日最高気温(℃)及び起時								
観測所	日降水量	日最大1時間降水量		日最大風速・風向・起時			日最高気温・起時	
		降水量	時分	最大風速	風向	起時	最高気温	起時
国見	0	0	—	3	南東	17h00m	34.7	13h20m
中津	0	0	—	6	南	17h30m	33.4	13h40m
豊後高田	2	2	17h00m	5	南南西	15h10m	36.0	13h10m
耶馬溪	16	16	15h20m					
院内	0	0	—	6	北北西	12h40m	33.8	12h20m
杵築	×	×	障害による休止	4	東南東	13h30m	32.0	10h30m
武蔵	0	0	—	6	南東	15h20m	28.9	17h30m
伏木	9	9	14h50m					
日田	1	1	16h50m	6	南西	15h40m	36.2	13h10m
別府	0	0	—					
玖珠	7	7	14h40m	4	東南東	19h10m	33.8	11h30m
湯布院	7	7	17h00m	4	西南西	17h10m	31.5	12h10m
大分	4	4	16h40m	7	西南西	16h40m	34.9	13h20m
佐賀関	0	0	—					
杵臼岳	18	18	16h00m					
臼杵	0	0	—					
温見	41	40	16h40m					
犬飼	0	0	—	3	西南西	18h00m	35.4	14h00m
竹田	0	0	—	4	南西	15h30m	35.0	14h00m
出羽	0	0	—					
佐伯	0	0	—	4	南	17h20m	34.8	14h10m
倉木	1	1	17h10m					
宇目	0	0	—	3	南南東	16h10m	33.9	13h40m
蒲江	0	0	—	4	南南西	16h30m	31.4	13h40m

[被害概況]落雷により、24 日に山国地区で 3, 000 戸、日田地区で 28, 000 戸、玖珠九重地区で 17, 000 戸、大分地区で 23, 000 戸、大野地区で 300 戸が停電した。

1116 平成16年(2004年)7月27日の雷による落雷害(熱雷)

[気象概況]7月27日、大分県は太平洋高気圧周辺部にあたり、午後には強い日射の影響もあって、大気が非常に不安定な状態となり、県内は一時的に雷を伴った雨となった。



地上天気図 7月27日9時

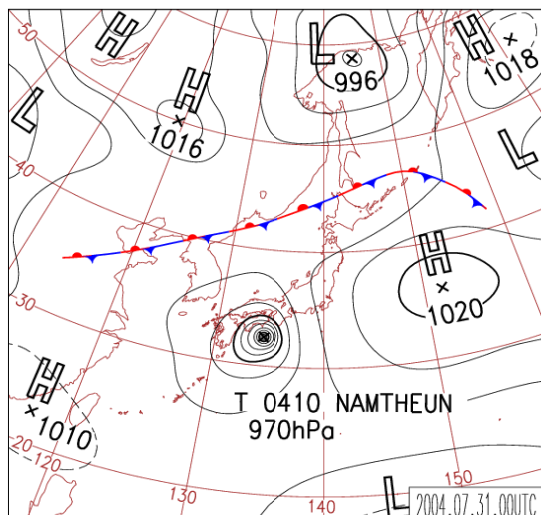
各地の日降水量・日最大1時間降水量(単位:mm)と日最大風速・風向(単位:m/s)・日最高気温(単位℃)及び起時								
	日降水量	日最大1時間降水量		日最大風速・風向・起時			日最高気温・起時	
		降水量	起時	最大風速	風向	起時	最高気温	起時
国見	0	0	-	4	南東	10h40m	33.2	15h30m
中津	0	0	-	5	南南西	16h10m	33.2	13h30m
豊後高田	0	0	-	8	西南西	16h00m	33.7	12h50m
耶馬溪	2	2	15h30m					
院内	5	4	15h00m	6	北西	14h00m	33.0	12h30m
杵築	×	×	障害による休止	3	南東	17h00m	32.0	13h30m
武蔵	0	0	-	4	北北東	19h50m	28.8	14h10m
伏木	0	0	-					
日田	0	0	-	5	西南西	12h20m	33.7	13h30m
別府	0	0	-					
玖珠	15	13	14h50m	4	南南東	15h40m	32.6	12h50m
湯布院	25	25	15h40m	6	西南西	15h10m	29.4	10h40m
大分	0	0	-	5	北西	15h50m	32.9	15h10m
佐賀関	0	0	-					
釈迦岳	2	1	17h40m					
臼杵	0	0	-					
温見	1)	1)	7h00m					
犬飼	0	0	-	3	南西	17h20m	34.4	13h50m
竹田	11	11	16h40m	4	西	15h40m	32.9	13h20m
出羽	0	0	-					
佐伯	24	23	8h50m	4	南南東	16h40m	32.7	14h10m
倉木	×	×	障害による休止					
宇目	0	0	-	3	南東	15h50m	31.9	12h50m
蒲江	71	47	7h50m	3	南	15h00m	30.5	13h00m

[被害概況]落雷により、安心院地区で8,000戸が停電した。

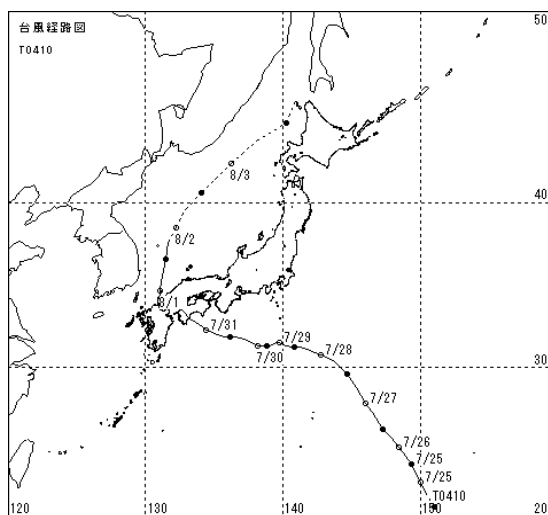
1117 平成 16 年(2004 年)7 月 31 日～8 月 1 日の強風・波浪による強風害・海上波浪害

(台風第 10 号)

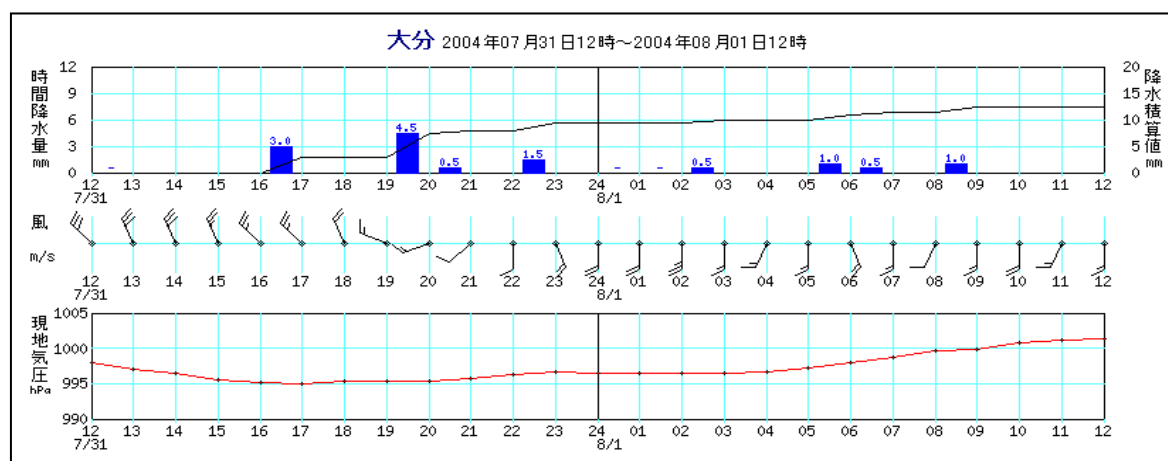
[気象概況]7 月 25 日 09 時に南鳥島の西海上で発生した台風第 10 号は、26 日 21 時には、父島の東南東の海上にあり、中心気圧 945hPa、最大風速 45m/s と勢力を強めながらゆっくりと北西へ進み、28 日に八丈島の南海上に達した。その後、強い勢力を保ちながら日本の南海上をゆっくりと西北西へ進み、31 日 16 時過ぎに中心気圧 980hPa、最大風速 35m/s の勢力で高知県西部に上陸した。台風は北西へ進み、瀬戸内海を経て、21 時 30 分頃広島市に再上陸した。再上陸後、島根県、山口県北部を通り、8 月 1 日 00 時には日本海に達した。その後、日本海を北上し、2 日 09 時には山陰沖で熱帯低気圧となった。



地上天気図 7 月 31 日 09 時



台風第 10 号経路図 7 月 25 日～8 月 2 日



極値表(7月31日)			
観測地点	観測項目	観測値	起時
大分	日最低海面気圧	996.2hPa	17h02m
	日最大風速・風向	6.4m/s 北北西	14h10m
	日最大瞬間風速・風向	14.6m/s 北東	16h33m
大分空港	日最大風速・風向	11.3m/s 北	16h01m
	日最大瞬間風速・風向	14.9m/s 北	15h55m

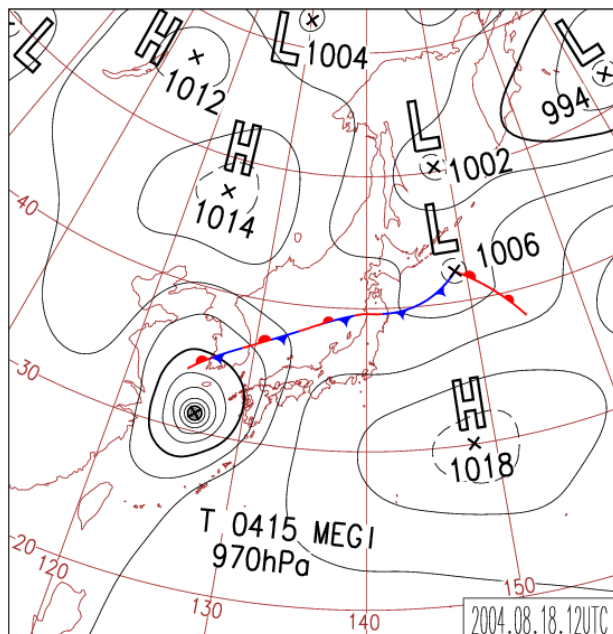
[被害概況]台風の影響で、31 日午後、県内関連のフェリーはほとんど欠航した。1 日、次の便が欠航した。高速船ソレイユ(別府ー松山、呉)の全便、スーパダフェリー(竹田津ー徳山)の竹田津発、徳山発とも始発から 3 便、国道九四フェリー(佐賀関ー三崎)

の佐賀関発が始発から 2 便、三崎発は始発便、九四オレンジフェリー(臼杵ー八幡浜)臼杵発、八幡浜発とも始発便、シャトルハイウェイ(大分ー横須賀)横須賀発の 1 便。航空便では 31 日午後、JAL エクспレスの大分発大分行き 1 便と、折り返しの 1 便、全日空の東京発大分行き 1 便、全日空の大分発大分行き 1 便が欠航した。1 日は大分発羽田行き 1 便が欠航した。

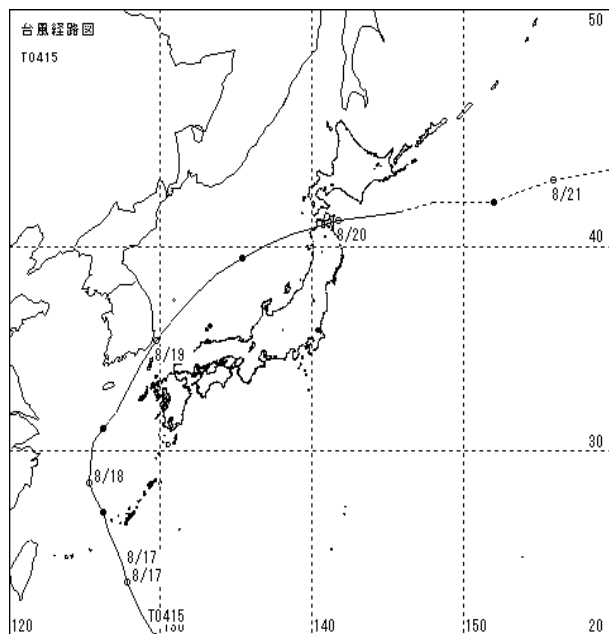
1118 平成 16 年(2004 年)8 月 17 日～19 日の大雨・強雨・強風による強雨害・強風害・

海上波浪害（台風第 15 号）

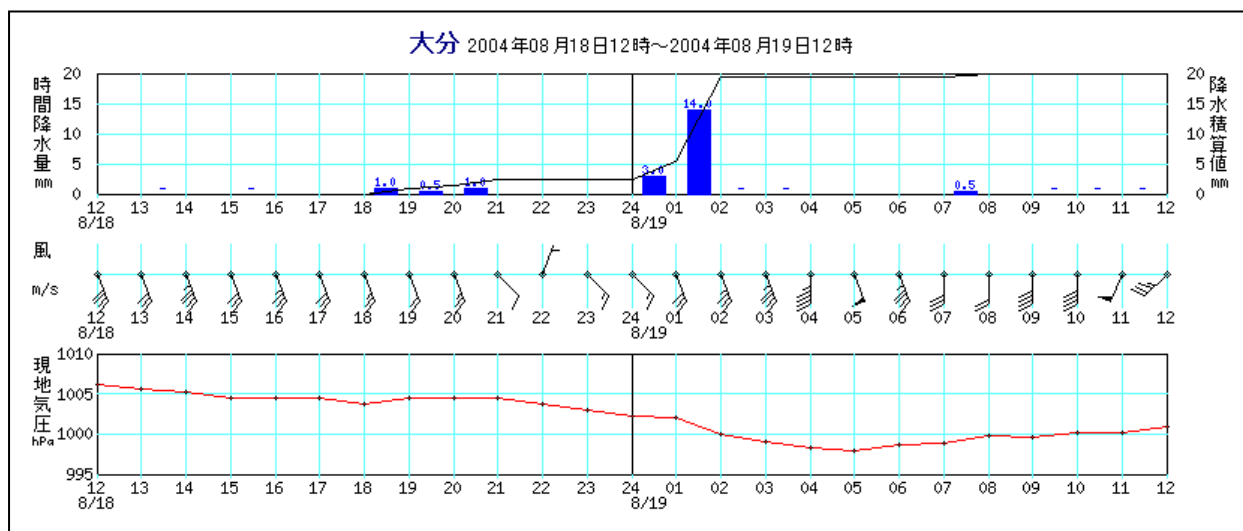
[気象概況]8 月 16 日 15 時にフィリピンの東海上で発生した台風第 15 号は、次第に発達しながら、18 日 09 時には、奄美大島の西海上を北北西へ進み、東シナ海を北上した。19 日 03 時には福江島の西北西の海上を北北東へ進み、19 日 06 時には、中心気圧 970hPa、最大風速 35m/s の勢力で対馬市の西北西の海上へ進んだ。その後、日本海を北東へ進み、20 日 06 時過ぎ、青森県津軽半島に上陸した。上陸後、北海道の南海上を東へ進み、18 時に根室の南東海上で温帯低気圧に変わった。



地上天気図 8 月 18 日 21 時



台風第 15 号経路図 8 月 17 日～20 日



極値表(日田特別地域観測所)		
観測項目	観測値	起時
日最低海面気圧	996.7hPa	19 日 03h58m
日最大風速・風向	9.0m/s 南	19 日 07h20m
日最大瞬間風速・風向	23.4m/s 南南西	19 日 05h09m

8月17日～19日の日別降水量(単位:mm)と日最大風速・風向(単位:m/s)									
観測所名	17日	18日	19日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時		日最大風速・風向・起時		
					降水量	起時	風速	風向	起時
国見	5	12	0	17	5	18日 02h30m	7	南南東	19日 08h00m
中津	0	1	2	3	2	19日 05h50m	10	南	19日 08h50m
豊後高田	6	4	0	10	3	18日 01h20m	12	南西	19日 12h30m
耶馬溪	3	0	7	10	3	19日 07h30m			
院内	6	2	2	10	2	17日 11h30m	7	南南西	19日 09h10m
杵築	23	27	4	54	17	18日 01h40m	7	南東	19日 02h30m
武蔵	31	25	2	58	11	18日 00h50m	14	南東	19日 02h10m
伏木	0	2	7	9	4	19日 05h30m			
日田	0	1	11	12	6	19日 05h10m	9	南	19日 07h20m
別府	21	8	4	33	9	17日 23h40m			
玖珠	6	2	33	41	15	19日 16h40m	7	南	19日 08h50m
湯布院	8	3	7	18	4	17日 10h40m	12	南西	19日 11h00m
大分	45	34	17	96	25	17日 24h00m	10	南西	19日 12h40m
佐賀関	73	51	4	128	20	18日 02h20m			
釈迦岳	2	1	41	44	9	19日 14h50m			
臼杵	72	53	10	135	19	18日 01h50m			
温見	24	27	10	61	13	18日 01h50m			
犬飼	101	62	8	171	35	18日 00h10m	5	南南西	19日 23h30m
竹田	21	35	13	69	19	18日 01h10m	5	西南西	19日 18h00m
出羽	200	63	11	274	42	17日 16h50m			
佐伯	86	53	7	146	39	17日 14h20m	10	南	19日 00h50m
倉木	47	92	19	158	34	18日 01h00m			
宇目	224	89	18	331	43	17日 19h40m	7	南南東	19日 00h50m
蒲江	65	25	10	100	48	17日 13h20m	14	南南東	19日 01h20m

[被害概況]台風第 15 号の大雨や強風の影響で農業関係では、玖珠九重、日田振興局管内で、野菜や果樹、水稻等に被害があった。また、強風によるビニールハウスの損壊もあり総被害額は 1,917 万円に及んだ。

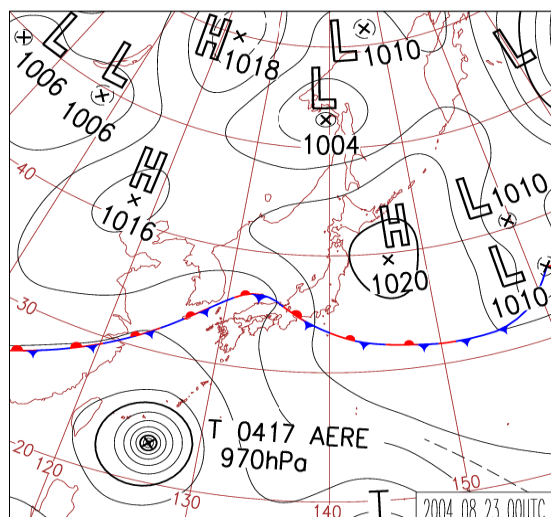
大分ホーパーフエリーや、国道九四フェリー、スオーナダフェリー、高速船ソレイユは午前中の全便が欠航。宇和島運輸フェリーは一部欠航。JR では、日豊本線と久大本線は特急列車などに運休や遅れが出た。また、航空便では中国東方航空の大分-上海便が欠航した。

被害状況				
死者・行方不明者		人	道路損壊	か所
負傷者		人	橋の流失	か所
被災者		人	鉄軌道被害	か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	か所
	半壊・半焼・一部破損	棟	堤防決壊	か所
	床上浸水	棟	通信施設被害	回線
	床下浸水	棟	木材流失	m ³
耕地	流失・埋没	ha	山林焼失	ha
	冠水	ha	船舶被害	隻
農業被害		37 ha		か所
		1917 万円		
水産業被害		隻		か所
		万円		
林業被害		m ³		ha
		か所		万円
交通	陸上	運休・遅延		
	海上	欠航		
	航空	欠航 1便		
電力・水道被害				
被害資料の入手先		大分県、大分合同新聞		

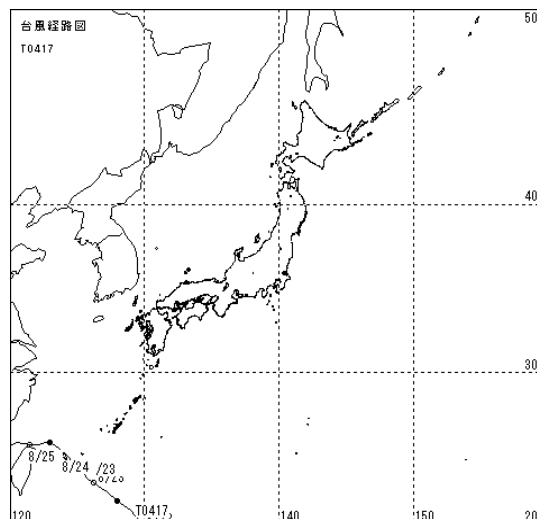
1119 平成 16 年(2004 年)8 月 23 日の雷・強雨による落雷害・強雨害

(停滞前線・台風第 17 号)

[気象概況]8 月 23 日午後、停滞前線が九州北岸に接近したためと台風第 17 号の影響により、大分県では、南から暖かく湿った空気が流れ込んだ。大気の状態が不安定となり、積乱雲が発達し、県内の大部分で一時的に雷を伴う激しい雨が降った。



地上天気図 8 月 23 日 09 時



台風第 17 号経路図 8 月 22 日～25 日

8 月 23 日の日雨量及び日最大 1 時間雨量・日最大風速風向・日最高気温及び起時									
観測所名	日降水量	日最大 1 時間降水量		日最大風速風向			日最高気温		起時
		降水量	起時	風速	風向	起時	最高気温	起時	
国見	85	81	16h20m	4	南南東	10h20m	31.5	13h30m	
中津	72	66	15h50m	9	北北西	15h00m	32.0	13h20m	
豊後高田	61	57	16h10m	10	北北西	15h40m	33.3	13h20m	
耶馬溪	12	11	16h40m						
院内	22	21	15h50m	8	北	16h00m	32.8	13h00m	
杵築	47	44	16h30m	6	北北西	16h20m	30.1	11h40m	
武蔵	48	44	16h40m	12	南南西	15h50m	28.6	13h50m	
伏木	23	22	15h50m						
日田	21	17	16h10m	5	西	14h40m	33.4	13h40m	
別府	41	39	16h30m						
玖珠	9	9	16h20m	8	西	15h20m	32.6	14h10m	
湯布院	5	4	16h10m	4	南西	14h40m	31.0	12h50m	
大分	39	37	15h40m	6	南	15h10m	31.6	14h10m	
佐賀関	42	39	15h30m						
釈迦岳	1	1	17h10m						
臼杵	8	6	15h50m						
温見	10	7	15h30m						
犬飼	8	6	15h20m	4	北	17h10m	34.0	12h50m	
竹田	76	50	15h00m	4	南	14h10m	33.0	12h30m	
出羽	23	13	15h30m						
佐伯	12	9	17h10m	4	南南東	14h40m	30.8	13h50m	
倉木	29	18	14h40m						
宇目	7	4	16h40m	3	南南東	14h00m	31.8	12h10m	
蒲江	18	12	08h40m	6	南南西	01h20m	29.3	11h30m	

[被害概況]23 日 14 時頃から 17 時頃にかけて、落雷のため九州電力大分支店管内で約 73,300 戸が停電した。大部分は数分で復旧したが、大野町の一部は約 1 時間、国東町の一部は約 20 分間、停電が続いた。

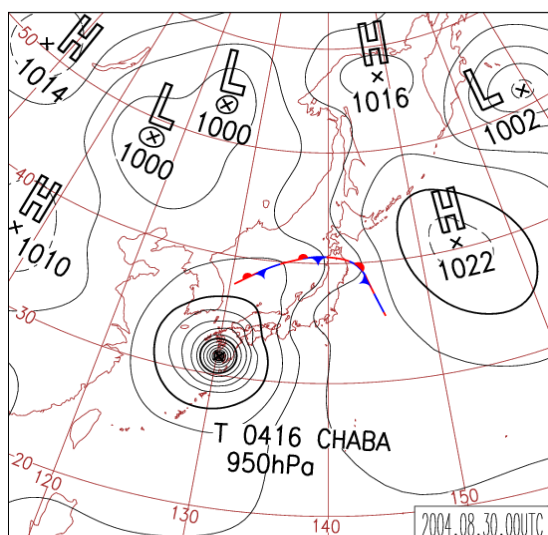
(交通機関)23 日、雷を伴う激しい雨の影響で JR のダイヤが乱れた。豊肥本線は、14 時 35 分頃、豊後萩駅で雨量の運行基準値を超えたため、朝地駅ー玉来駅間で約 2 時間 45 分運転を見合わせた。この影響で、特急列車 2 本と普通列車 10 本が運休、特急列車 3 本と普通列車 11 本が最大 1 時間 15 分遅れた。久大本線は、14 時 50 分頃、豊後国分駅の信号機が故障し、大分

駅ー由布院駅間で約 1 時間 30 分運転を見合わせた。この影響で、普通列車 6 本が運休、特急列車 6 本と普通列車 21 本が最大 2 時間遅れた。原因は落雷とみられる。日豊本線は、15 時 25 分頃、杵築駅と立石駅で雨量の運行基準値を超えたため、中津駅ー杵築駅間で約 2 時間徐行運転をした。この影響で、普通列車 7 本が運休、特急列車 11 本と普通列車 13 本が最大 1 時間 55 分遅れた。航空便では、23 日大阪発大分行きフェアリンク 3063 便(15 時 55 分到着予定)は、雷雨のため大分空港上空でサーclingし待機したため、40 分遅れで到着した。折り返しの 3064 便(16 時 25 分発予定)も 54 分遅れで出発した。

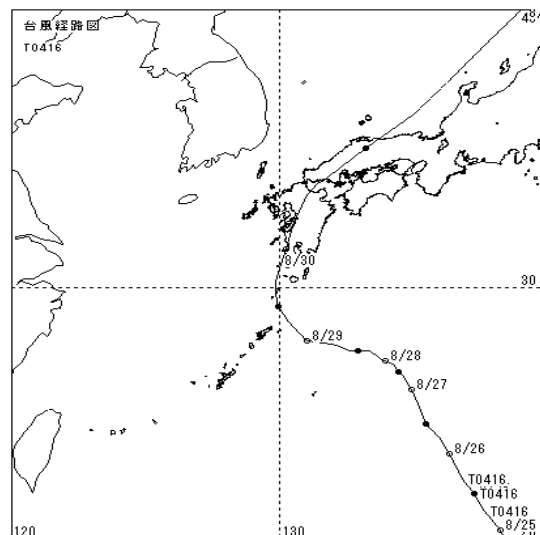
1120 平成16年(2004年)8月28日～30日の大雨・強雨・強風・波浪による山がけ崩れ害・ 浸水害・強風害・海上波浪害・沿岸波浪害（台風第16号・暖気移流）

[気象概況]8月19日21時にマージル諸島付近で発生した台風第16号は、23日03時には中心付近の最大風速が55m/sと「猛烈な」強さの台風となった。29日には鹿児島県奄美地方に接近した後、30日09時30分頃鹿児島県串木野市付近に上陸した。上陸時の勢力は中心気圧950hPa、中心付近の最大風速40m/sの「強い」台風であった。上陸後は速度をやや速めながら九州を縦断、14時から15時頃にかけて大分県西部、北部を通過し、周防灘へ抜けた。同日17時過ぎには山口県防府市付近に再上陸し、中国地方を北東へ縦断した後日本海へ進んだ。

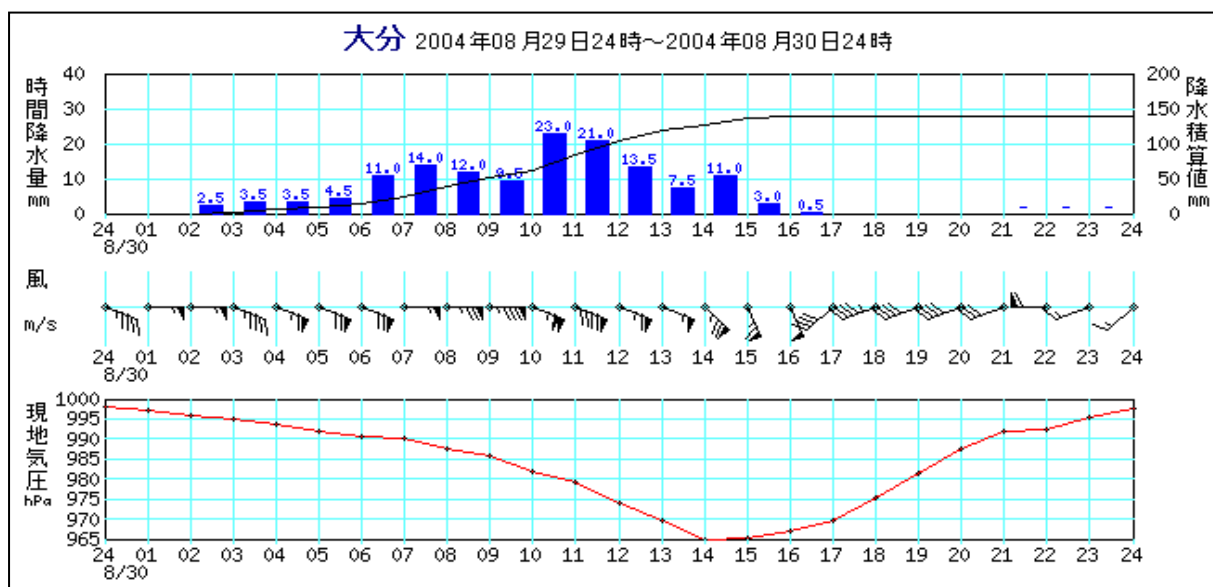
大分県では、30日11時頃には全域が暴風域に入った。大分市に台風が最接近したのは30日14時30分頃だった。大分では30日10時00分に最大風速、東南東の風20.6m/s、30日09時58分に最大瞬間風速、東の風36.3m/sを観測した。また、西部、南部を中心に大雨となり、期間降水量は、竹田市倉木で529mm、宇目で318mm、湯布院で316mmを観測した。台風が通過した8月30日は、1年間で最も潮位の高い時期であったが、台風が最接近した30日昼過ぎには干潮時にあたり高潮による被害は発生しなかった。大分港では台風通過時の30日16時46分に最大潮位偏差105cm、20時36分に最高潮位170cm(TP上)を観測した。



地上天気図 8月30日09時



台風第16号経路図 8月25日～31日



8月28日～30日の日別降水量(単位:mm) 日最大風速・風向(単位:m/s)									
観測地点	28日	29日	30日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	日最大風速・風向・起時			
国見	0	0	124	124	28 30日 12h40m	11	北東	30日 12h20m	
中津	0	0	85	85	11 30日 15h10m	15	東	30日 12h40m	
豊後高田	0	0	51	51	9 30日 16h00m	21	東	30日 13h00m	
耶馬溪	0	8	135	143	16 30日 11h50m				
院内	0	7	274	281	42 30日 11h10m	10	北東	30日 11h20m	
杵築	0	0	54	54	7 30日 08h00m	14	東南東	30日 13h10m	
武蔵	0	0	84	84	11 30日 14h10m	29	南東	30日 14h00m	
伏木	0	3	130	133	23 30日 14h30m				
日田	0	0	64	64	15 30日 14h20m	11	西	30日 17h50m	
別府	1	0	108	109	15 30日 12h20m				
玖珠	0	3	56	59	15 30日 14h40m	16	西	30日 18h50m	
湯布院	1	25	290	316	36 30日 11h50m	14	西南西	30日 18h30m	
大分	0	2	140	142	23 30日 11h00m	21	東南東	30日 10h00m	
佐賀関	0	0	134	134	35 30日 14h00m				
釈迦岳	0	5	154	159	24 30日 13h50m				
臼杵	0	2	196	198	42 30日 12h10m				
温見	11	25	234	270	27 30日 07h10m				
犬飼	1	4	×	×	×	7	南西	30日 18h00m	障害による休止
竹田	7	32	180	219	21 30日 11h20m	10	東	30日 10h50m	
出羽	5	25	212	242	27 30日 11h40m				
佐伯	0	3	186	189	41 30日 14h00m	16	南南東	30日 14h10m	
倉木	38	84	407	529	42 30日 10h40m				
宇目	4	21	293	318	38 30日 11h30m	10	南南東	30日 13h20m	
蒲江	2	1	78	81	13 30日 12h00m	28	南南東	30日 13h00m	

[被害概況]台風第16号の暴風により、臼杵市内で自宅のトタン屋根を修理中に、トタンが飛ばされ顔面に当たる等の人的被害が3件発生し、4名が負傷した。建物被害としては、玖珠郡九重町大字湯坪の民家で、突風により民家の木造2階建のトタン屋根(3m×3m)が飛ばされる等、県下で全壊1棟を含め、249棟の住家被害が発生した。また、大雨による被害は、西部を中心に山がけ崩れ害が9箇所、床上浸水4棟、床下浸水が41棟発生した。

(農林漁業被害)農業関係では、台風第16号の強風や大雨により、大分県のほぼ全域で、水稻、野菜、果樹等の農産物の被害があった。また、栽培施設や農地・農業施設の被害もあり、農業関係の被害総額は、298,193万円となった。林業関係では、林道、林地崩壊、造林地、その他林業施設等の被害があり、被害総額は665万円となった。漁業関係では、水産関係、漁港関係の被害があり、被害総額は41,990万円となった。

(交通機関)JRでは、30日豊肥本線、久大本線は始発から運休。日豊本線は、04時25分の柳ヶ浦発門司港行きの始発を除き運休。

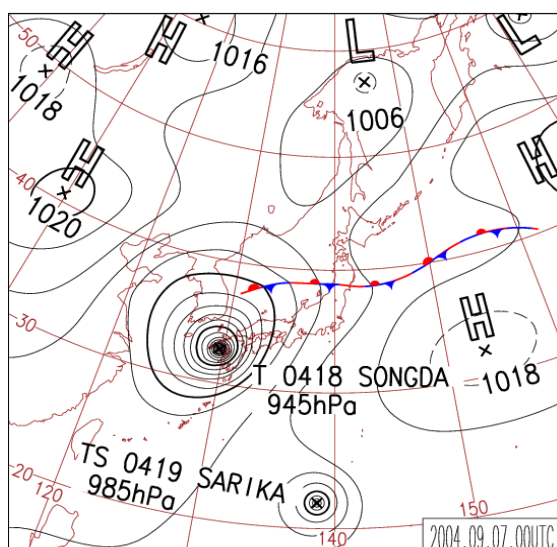
(その他)30日14時頃大分県内では最大49,700戸が停電した。また、30日06時50分頃から、蒲江町等で電話が約450回線不通になった。

極値表(大分地方気象台)		
観測項目	観測値	起時・期間
日最大風速・風向	20.6m/s 東南東	30日 10h00m
日最大瞬間風速・風向	36.3m/s 東	30日 09h58m
期間降水量(平年比)	142.0mm (664%)	28日～30日
最大日降水量	140.0mm	30日
日最大1時間降水量	23.0mm	30日 11h01m
日最大10分間降水量	6.0mm	30日 11h41m
日最低海面気圧	965.8hPa	30日 14h22m

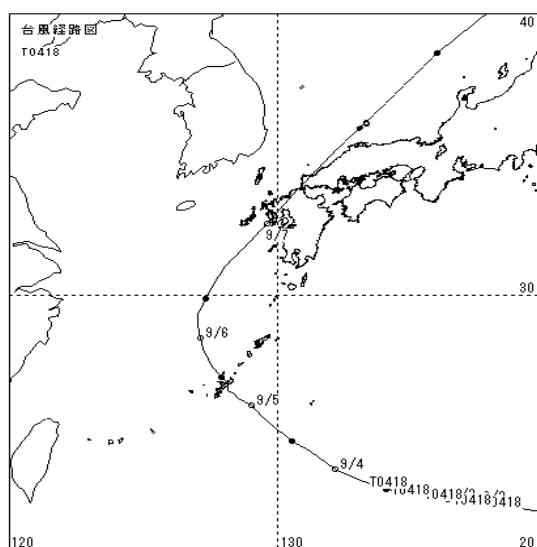
被害状況			
死者・行方不明者		人	道路損壊 55 箇所
負傷者		4 人	橋の流失 箇所
被災者		人	鉄軌道被害 箇所
住家	全壊・全焼・流失	1 棟	山崖崩れ・地滑り 9 箇所
	半壊・焼・一部破損	248 棟	堤防決壊 箇所
	床上浸水	4 棟	通信施設被害 450 回線
	床下浸水	41 棟	木材流失 m ³
耕地	流失・埋没	74.4 ha	山林焼失 ha
	冠水	138.7 ha	船舶被害 133 隻
農業被害		11934 ha	箇所
水産業被害		隻	298193 万円
林業被害		m ³	41990 万円
交通	陸上	運休	ha
	海上		665 万円
	航空		
電力・水道被害		停電 49700戸	
被害資料の入手先		大分県、大分県警察本部、NTT大分支店、九州電力大分支店、大分合同新聞	

1121 平成 16 年(2004 年)9 月 5 日～7 日の強風・大雨・強雨・波浪による強風害・山がけ崩れ害・浸水害・海上波浪害・沿岸波浪害(台風第 18 号)

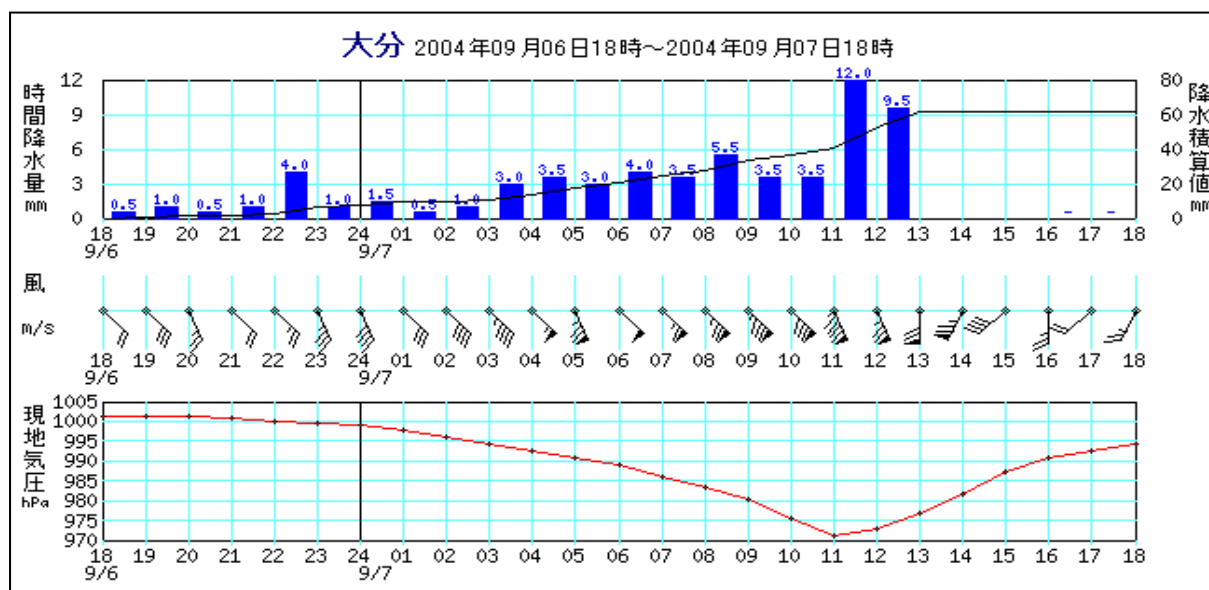
[気象概況]8 月 28 日 09 時にマージナル諸島付近で発生した台風第 18 号は、31 日 09 時には中心付近の最大風速が 45m/s と「非常に強い」勢力に発達した。9 月 5 日に沖縄本島を通過し、東シナ海を北上した。6 日夜からは東よりに向きを変えて九州北部に接近し、7 日 09 時 30 分頃長崎市付近に上陸した。上陸時の勢力は、中心気圧が 945hPa、中心付近の最大風速は 40m/s、風速 15m/s 以上の強風域の半径が東側 600km、西側 440km と「大型で強い」勢力だった。上陸後は速度を速めながら佐賀県、福岡県を通過、12 時頃響灘へ抜け、山口県の西岸部をかすめて日本海へ進んだ。6 日朝の内から大分県の一部が強風域に入り、昼過ぎには全域が強風域に入った。7 日 07 時頃には、大分県の一部が暴風域に入り、08 時頃には全域が暴風域に入った。7 日 11 時 48 分には日田で南南東の風で 50.2m/s(観測史上 1 位)の最大瞬間風速を観測した。また、大分でも 7 日 11 時 04 分に南東の風で 38.4m/s(観測史上 3 位)の最大瞬間風速を観測した。大分県が暴風域を抜けた 16 時頃から風は次第に弱まり、17 時 50 分に暴風警報は解除された。大分県では、台風の接近に伴い西部、南部、中部を中心に大雨となり、5 日から 7 日までの期間降水量は倉木で 338 mm、出羽で 250 mm、臼杵で 241 mm を観測した。



地上天気図 9 月 7 日 09 時



台風第 18 号経路図 9 月 4 日～7 日



9月5日～7日の日別降水量(単位:mm)と日最大風速・風向(単位:m/s)									
	5日	6日	7日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	日最大風速・風向・起時			
国見	0	35	42	77	13	7日 12h10m	14	南	7日 12h50m
中津	3	34	41	78	22	7日 12h40m	20	南南西	7日 12h30m
豊後高田	1	24	24	49	8	7日 12h00m	22	南南西	7日 13h30m
耶馬溪	6	34	58	98	18	7日 12h30m			
院内	9	24	62	95	16	7日 11h40m	14	南	7日 12h10m
杵築	0	35	16	51	10	6日 03h30m	15	南東	7日 11h10m
武蔵	0	23	41	64	9	7日 01h20m	30	南南東	7日 11h20m
伏木	8	48	67	123	33	7日 11h50m			
日田	5	75	81	161	42	7日 11h40m	17	南	7日 11h40m
別府	3	33	48	84	19	7日 12h10m			
玖珠	7	18	31	56	11	7日 15h10m	17	南南東	7日 11h50m
湯布院	21	82	113	216	34	7日 11h50m	21	南西	7日 13h00m
大分	8	45	54	107	15	7日 12h30m	19	南南東	7日 11h10m
佐賀関	0	21	75	96	15	7日 10h00m			
釈迦岳	8	67	×	×	×	障害による休止			
臼杵	4	139	98	241	24	6日 22h20m			
温見	9	89	121	219	15	7日 08h20m			
犬飼	14	103	96	213	17	6日 12h50m	10	南	7日 11h10m
竹田	65	81	83	229	23	5日 22h50m	9	南南西	7日 12h40m
出羽	38	122	90	250	15	6日 12h00m			
佐伯	5	33	55	93	13	7日 11h20m	18	南南東	7日 11h40m
倉木	25	172	141	338	19	7日 08h10m			
宇目	23	65	113	201	23	7日 11h20m	11	南南東	7日 10h20m
蒲江	10	12	12	34	7	6日 14h40m	25	南南東	7日 11h00m

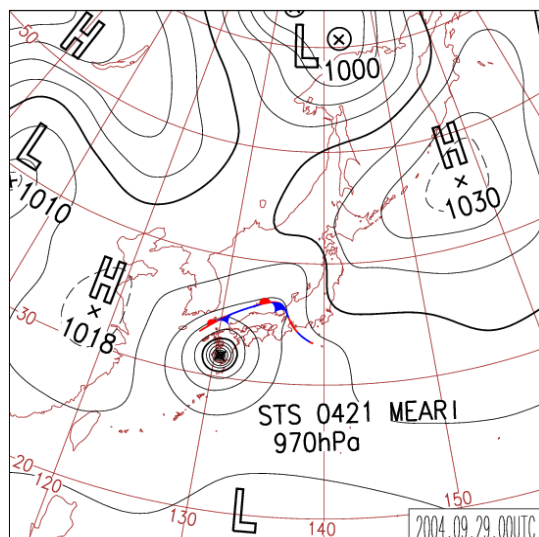
極値表(大分地方気象台)		
観測項目	観測値	起時
日最低海面気圧	971.9hPa	7日 11h04m
日最大風速・風向	19.4m/s 南南東	7日 11h00m
日最大瞬間風速・風向	38.4m/s 南東	7日 11h04m

[被害概況]台風の接近に伴う暴風により、7日10時50分頃佐伯市中の島で、落下した看板が走行中の車両のフロントガラスを破って、運転手の顔面に直撃し負傷した。また、香々地町、九重町、宇佐市、別府市で暴風により、窓ガラスが割れ、破片で負傷するなど23名の負傷者がでた。建物被害では、住家半壊・一部損壊が976棟の被害があった。台風接近による大雨により、7日09時40分頃臼杵市大字大泊の県道臼杵津久見線(大泊～徳浦間)で幅20m、高さ10mの山がけ崩れがあり、道路の3分の2程が埋まり通行できない等の山がけ崩れが5箇所発生した。農業被害は518,921万円、水産業被害は13,800万円、林業被害は85,700万円に達した。また、県下で110,400戸の停電が発生した。県教育委員会のまとめでは、6日から7日にかけて多くの学校で途中下校や臨時休校とした。

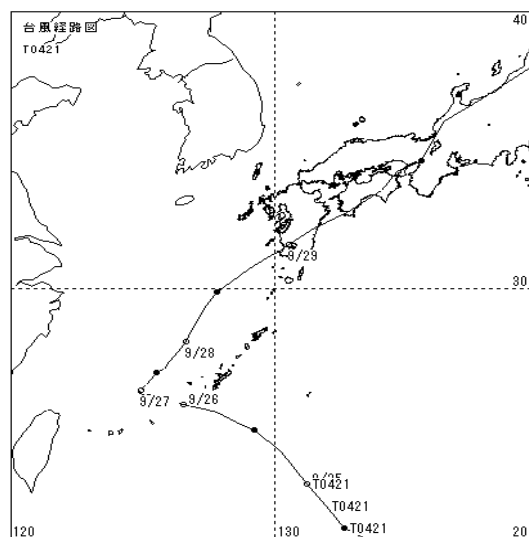
被害状況			
死者・行方不明者		人	道路損壊
負傷者		23人	橋の流失
被災者		人	鉄軌道被害
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り
	半壊・焼・一部破損	976棟	堤防決壊
	床上浸水	3棟	通信施設被害
	床下浸水	6棟	木材流失
耕地	流失・埋没	7.7ha	山林焼失
	冠水	97.6ha	船舶被害
農業被害		19180ha	1774か所
水産業被害		隻	518921万円
林業被害			13800万円
		m ³	ha
		319か所	85700万円
交通	陸上	JR、高速バス等運休多数	
	海上	フェリー欠航多数	
	航空	欠航、遅延多数	
電力・水道被害		停電 110400戸	
被害資料の入手先		大分県消防防災課、大分県警察本部、九州電力大分支店、大分合同新聞	

1122 平成 16 年(2004 年)9 月 28 日～29 日の大雨・強雨・強風・波浪による強風害・浸水害・洪水害・山がけ崩れ害・海上波浪害(台風第 21 号)

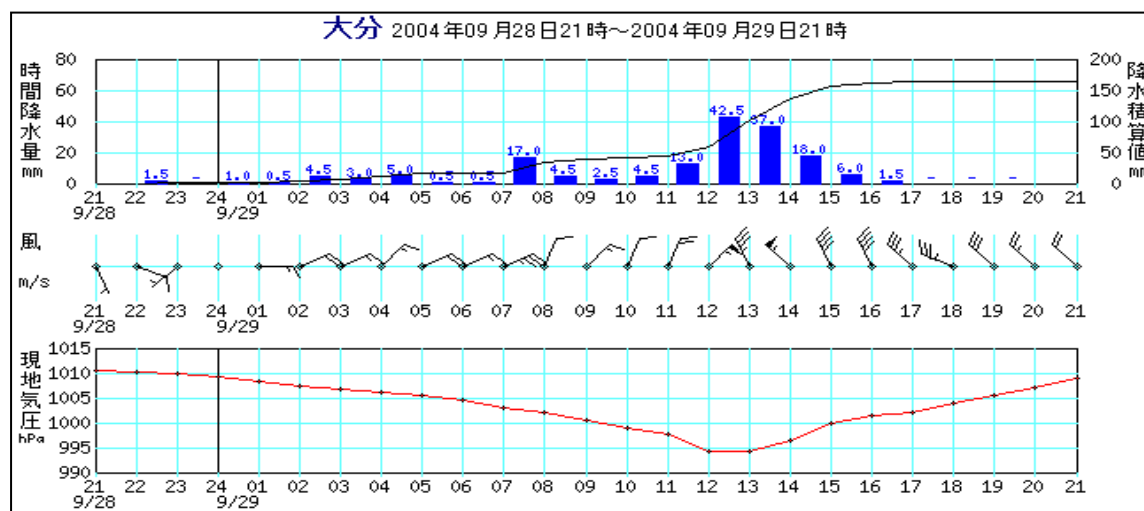
[気象概況]9月21日03時にグアム島の西海上で発生した台風第21号は、26日には宮古島の北の海上に達し、ほとんど停滞した。この後、27日の夕方からは北東へ向きを変えて再び動き始め九州に接近し、29日08時30分頃鹿児島県串木野市付近に上陸した。上陸時の勢力は、中心気圧が970hPaで中心付近の最大風速は30m/s、風速25m/s以上の暴風域の半径は140km、風速15m/s以上の強風域の半径は東側440km、西側300kmだった。台風は、上陸後次第に勢力は衰えたものの、各地に大雨を降らせながら北東へ進み、29日12時過ぎには宮崎県北部から日向灘へ抜け、15時過ぎに高知県に再上陸した。その後、本州を縦断後30日09時に三陸沖で温帯低気圧となった。大分県では、29日10時20分には、国見で1時間に104mmの猛烈な雨を観測した。29日昼ごろからは県内のほぼ全域で1時間に30mm以上の激しい雨が降り、夕方まで断続的に続いた。28日09時の降り始めから29日24時までの期間降水量は臼杵で254mm、宇目で234mm、佐伯で231mm、国見で227mm、佐賀関で207mmであった。大分県は29日明け方から風速15m/s以上の強風域に入り、南東から北東の風が次第に強まった。29日昼頃から昼過ぎにかけては北部地方を除き風速25m/sの暴風域に入り、大分で14時01分に北北西の風で27.7m/sの最大瞬間風速を観測した。



地上天気図 9月29日09時



台風第21号経路図 9月26日～29日



9月28日～29日の日別降水量(単位:mm)と日最大風速(単位:m/s)・風向								
	28日	29日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	日最大風速・風向・起時			
国見	2	225	227	104	29日 10h20m	12	北北東	29日 13h10m
中津	2	77	79	16	29日 12h40m	16	北	29日 12h20m
豊後高田	2	126	128	37	29日 11h40m	18	北	29日 13h40m
耶馬溪	2	119	121	37	29日 11h40m			
院内	2	178	180	36	29日 10h20m	13	北北東	29日 13h00m
杵築	4	99	103	23	29日 13h10m	7	北西	29日 20h40m
武蔵	3	166	169	52	29日 09h10m	19	北北西	29日 14h30m
伏木	1	51	52	11	29日 10h40m			
日田	0	43	43	13	29日 11h00m	5	西	29日 13h20m
別府	1	7]	1	2]	29日 11h50m			
玖珠	1	78	79	15	29日 09h50m	10	北	29日 11h40m
湯布院	2	155	157	47	29日 13h00m	9	北北東	29日 15h00m
大分	7	162	169	45	29日 13h40m	12	北西	29日 13h50m
佐賀関	7	200	207	63	29日 13h10m			
釈迦岳	1	66	67	14	29日 11h20m			
臼杵	11	243	254	66	29日 13h50m			
温見	10	139	149	49	29日 12h40m			
犬飼	9	144	153	35	29日 13h30m	12	北北西	29日 13h50m
竹田	7	102	109	17	29日 12h00m	6	西北西	29日 14h40m
出羽	16	117	133	25	29日 13h20m			
佐伯	29	202	231	37	29日 14h30m	11	北	29日 13h40m
倉木	10	121	131	20	29日 11h30m			
宇目	20	214	234	34	29日 12h00m	8	北	29日 12h10m
蒲江	41	141	182	30	29日 12h50m	13	北北西	29日 14h20m

[被害概況]台風による大雨のため、9月29日に国見町川西地区と東中地区で民家の裏山が崩れ、家屋が一部損壊し自主避難、人的被害なし。29日、別府市朝見1丁目で教会の裏山の急斜面の土砂が崩落し、教会の一部が半壊したものの人的被害なし等、18箇所、山の崩れがあった。29日、国見町岐部川で河川の増水により、堤防が約30mから40m程度決壊し流水した。このため、国見町中岐部、大熊毛、櫛来、浦手地区で30棟が床下浸水したが、人的被害はなかった。また、武蔵町内田地区、国東町大恩寺地区、富来地区、横手地区、赤松地区で山からの流水により7棟が床下浸水した。安岐町富清では道路工事中の暗きょが増水のため詰まり、1棟が床下浸水した。佐賀関町大字一尺屋下川原地区で1棟が床上浸水し、1名が一尺屋改善センターに自主避難した。29日、大分市高江で民家の敷地内のプレハブ倉庫(縦2×横1×高さ2m)が強風により倒壊するなど非住家被害が、県内3箇所が発生した。農林漁業関係被害では大分県全域にわたり、強風と大雨により水稻の倒伏、野菜の倒伏、果樹の落下、ビニールハウスの損壊の被害が発生した

極値表(大分地方気象台)		
観測項目	観測値	起時・期間
日最低海面気圧	994.7hPa	29日 12h19m
日最大風速・風向	11.8m/s 北西	29日 13h50m
日最大瞬間風速・風向	27.7m/s 北北西	29日 14h01m
期間降水量(平年比)	168.5mm (1,212%)	28日～29日
最大日降水量	161.5mm	29日
日最大1時間降水量	45.0mm	29日 13h42m
日最大10時間降水量	11.0mm	29日 12h52m

被害状況

死者・行方不明者 人 道路損壊 31 か所

負傷者 2 人 橋の流失 か所

被災者 人 鉄軌道被害 か所

住家

全壊・全焼・流失 3 棟 山崖崩れ・地滑り 18 か所

半壊・焼・一部破損 35 棟 堤防決壊 1 か所

床上浸水 32 棟 通信施設被害 839回線

床下浸水 326 棟 木材流失 m³

耕地

流失・埋没 6.5 ha 山林焼失 ha

冠水 159 ha 船舶被害 13 隻

農業被害 11934 ha

222464 万円

水産業被害 隻 か所

5173 万円

林業被害 m³ ha

か所 6695 万円

交通

陸上

海上

航空

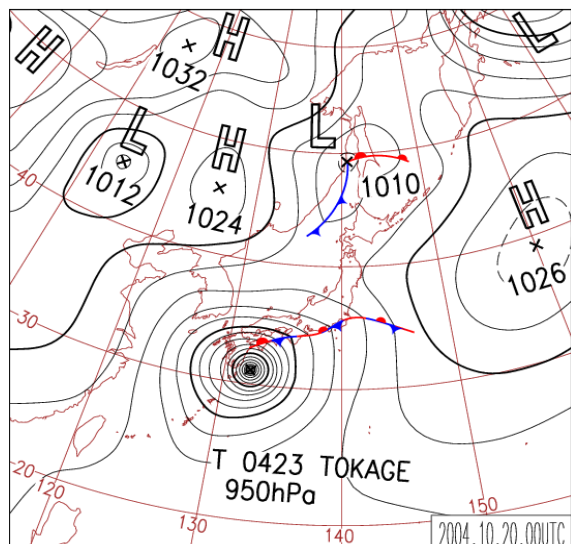
電力・水道被害 停電 9300戸

被害資料の入手先 大分県、大分県警察本部、NTT大分支店、九州電力大分支店、大分合同新聞

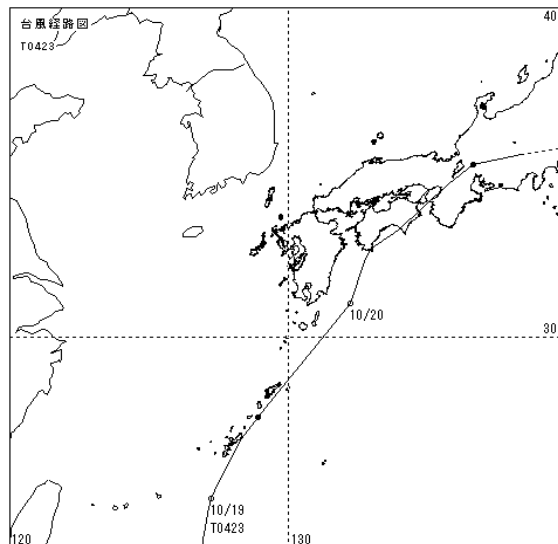
県教育委員会によると、臨時休校が348校、途中下校が38校、自宅待機が31校となった。

1123 平成 16 年(2004 年)10 月 18 日～20 日の大雨・強雨・強風・波浪による山がけ崩れ 害・浸水害・強風害・沿岸波浪害・海上波浪害(台風第 23 号・秋雨前線)

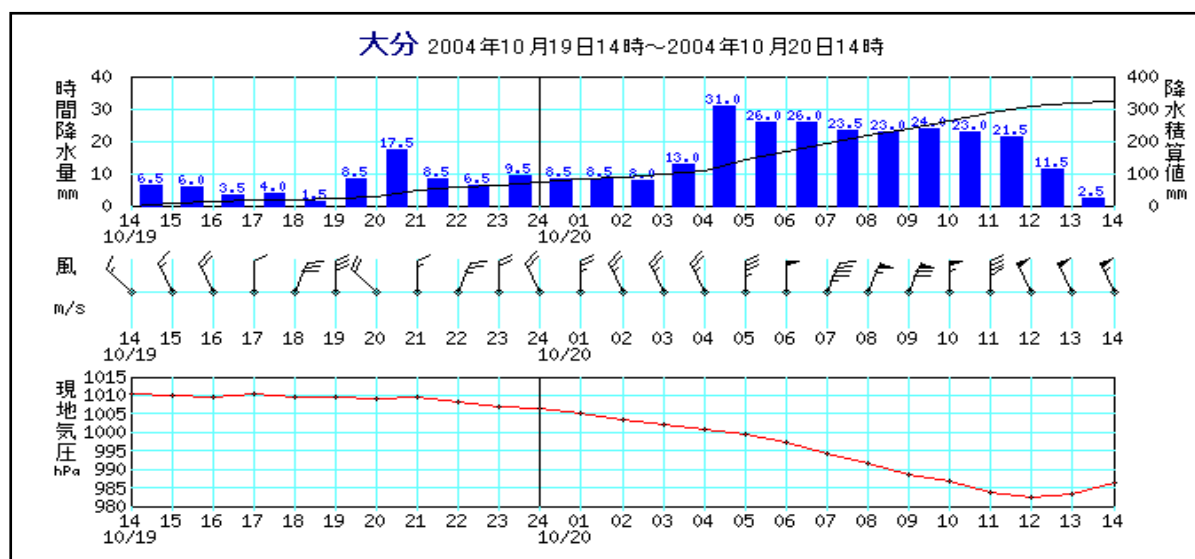
[気象概況]10 月 13 日 09 時にマリアナ諸島の西海上で発生した台風第 23 号は、16 日 15 時には「超大型で非常に強い」勢力に発達した。19 日には沖縄本島や奄美諸島に沿うように北上し、種子島の東海上を通過して、20 日 13 時頃、高知県土佐清水市付近に上陸した。上陸時の勢力は、中心気圧 955hPa、中心付近の最大風速 40m/s、風速 25m/s 以上の暴風域の半径は東側 330km 西側 220km、風速 15m/s 以上の強風域の半径は東側 800km 西側 560km と「大型で強い」台風だった。その後、18 時前に大阪府泉佐野市付近に再上陸し、本州を縦断後、21 日 03 時に関東の東海上で温帯低気圧に変わった。大分県には大型で強い勢力のまま接近し、19 日 17 時頃から 20 日 21 時頃まで強風域に、20 日 09 時頃から 16 時頃にかけては暴風域に入った。秋雨前線が九州中部付近に停滞していたため、大分県では強い雨が長時間持続した。18 日から 20 日までの期間降水量は、宇目で 503mm、蒲江で 472mm、佐伯で 471mm、大分で 400.5mm、別府で 297mm、中津で 266mm を観測した。また、県下は風も強く、最大瞬間風速は、大分では 09 時 24 分に北東の風 30.0m/s、日田では 12 時 53 分に北北西の風 19.9m/s を観測した。また、台風が最も接近した 20 日昼頃は満潮時だったため、台風通過時の大分港の最大潮位偏差は 57cm(20 日 10 時 08 分)、最高潮位は TP 上 116cm(20 日 12 時 23 分)となった。



地上天気図 10 月 20 日 9 時



台風第 23 号経路図 10 月 19 日～21 日



10月18日～20日の日別降水量(単位:mm)と日最大風速・風向(単位:m/s)									
	18日	19日	20日	日別降水量合計	日最大1時間降水量・起時	日最大風速・風向・起時			
国見	3	83	141	227	18	20日 05h50m	9	北北東	20日 09h50m
中津	4	80	182	266	28	20日 09h00m	12	北北西	20日 14h50m
豊後高田	4	66	141	211	22	20日 10h20m	15	北北西	20日 13h50m
耶馬溪	5	85	163	253	25	20日 13h20m			
院内	5	75	208	288	27	20日 14h10m	13	北	20日 12h50m
杵築	6	73	145	224	18	20日 09h30m	12	北北東	20日 08h20m
武蔵	5	96	160	261	16	20日 08h40m	23	北北東	20日 09h50m
伏木	4	60	59	123	7	20日 09h20m			
日田	4	59	40	103	8	19日 18h10m	7	北北西	20日 12h00m
別府	7	90	200	297	33	20日 10h30m			
玖珠	4	56	86	146	11	20日 10h30m	10	北北西	20日 13h20m
湯布院	6	55	209	270	42	20日 10h10m	13	北北東	20日 11h50m
大分	9	140	251	400	33	20日 05h10m	14	北	20日 10h20m
佐賀関	8	105	155	268	24	20日 05h00m			
釈迦岳	9	76	58	143	9	19日 17h00m			
臼杵	12	137	218	367	25	20日 07h00m			
温見	16	78	119	213	21	20日 09h30m			
犬飼	13	94	172	279	22	20日 07h30m	16	北	20日 10h50m
竹田	14	65	118	197	19	20日 07h40m	5	北	20日 15h50m
出羽	13	140	315	468	40	20日 07h10m			
佐伯	7	133	331	471	40	20日 06h00m	16	北	20日 10h50m
倉木	13	97	287	397	53	20日 09h00m			
宇目	11	140	352	503	52	20日 08h50m	7	北北東	20日 11h00m
蒲江	4	99	369	472	65	20日 10h20m	13	北	20日 12h00m

[被害概況]台風第23号の大雨により、臼杵市内で新聞配達中の男性が行方不明となった。犬飼町大字田原では、国土交通省犬飼現場監督所の裏山の土砂が高さ30m、幅30mにわたり崩落し、プレハブ事務所が移動損壊し、男3名、女1名が軽傷。大分市数戸新町では、市営住宅横の法面が崩落し、土砂がアパートに流れ込み、1棟15世帯が避難したが、人的被害なかった等の山がけ崩れが大分県内で26

箇所発生した。また、大分市錦町滝尾 JR 鉄橋付近では、大分川の増水による水路の逆流により8棟が床上浸水、7棟が床下浸水した。佐伯市木立で9棟が床上浸水する等の浸水害が大分県内で続出した。

交通障害は、20日航空便は29便が欠航し、フェリーは大半が終日欠航した。JRでは、日豊本線、豊肥本線、久大本線の各線とも朝から夜まで大半が運休した。

農業被害は、大分県全域にわたり、水稻の倒伏や野菜、果樹、花卉の被害やビニールハウスの損壊が発生した。

また、大分、臼杵、日田各市等で約14,400戸が停電し、ほとんどの学校は休校となった。

被害状況			
死者・行方不明者		1人	道路損壊 97か所
負傷者		7人	橋の流失 か所
被災者		人	鉄軌道被害 か所
住家	全壊・全焼・流失	1棟	山崖崩れ・地滑り 26か所
	半壊・焼・一部破損	92棟	堤防決壊 か所
	床上浸水	301棟	通信施設被害 718回線
	床下浸水	781棟	木材流失 m ³
耕地	流失・埋没	167.6ha	山林焼失 ha
	冠水	320.5ha	船舶被害 201隻
農業被害		3121 ha	2268 か所
水産業被害			380000 万円
林業被害			267300 万円
交通	陸上	運休	
	海上	欠航	
	航空	欠航 29便	
電力・水道被害		停電 14400戸	
被害資料の入手先		大分県、大分県警察本部、九州電力大分支店、大分合同新聞	